

開設年度	開講部局		
2016	共通教育		
科目名	ナンバリングコード		
進取の精神：その現在・過去・未来	FGE-BEP1502		
英語科目名			
The Spirit of Enterprise			
前後期	開講区分	科目形態	単位数
後期	毎週	講義	2
(28年度以降入学生)中分類		(28年度以降入学生)小分類	
教養教育科目(教養活用科目)		統合I(課題発見)	
(25年度以降入学生)中分類		(25年度以降入学生)小分類	
a. 実践・判断・精神力		2. 自己確立・他者理解を学ぶ	
(24年度以前入学生)大区分		(24年度以前入学生)中区分	
教養科目		人間教育科目	
受講学部学科			
全学部全学科			
担当教員		担当教員所属	
武隈晃		稲盛アカデミー	
連絡先(TEL)		連絡先(MAIL)	
099-285-3751		takekuma@edu.kagoshima-u.ac.jp	
オフィスアワー(授業時間外の対応)			
e-mailにて対応			
共同担当教員		AL(アクティブ・ラーニング)	
前田 芳實、島 秀典、高松 英夫、清原 貞夫、住吉 文夫、石窪 奈穂美、伊牟田 均、前田 雅人、飯干 明、田中 弘允、永田 行博、吉田 浩己、坂東 義雄、萬田 正治		1. グループワーク	
理念 重要視する教育目標			
6. 実践 2) 課題の解決に向けて主体的に行動できる			
理念 教育目標			
1. 自己理解 1) 自身の関心・能力・価値観を踏まえて行動できる			
理念 教育目標			
3. 論理的思考 1) 幅広い視野から課題の解決策を考えることができる			
理念 教育目標			
7. 他者との協働 1) 自身の責任や立場を理解し、自覚的に行動できる			
授業概要(目的・内容・方法)			
授業目的: 「進取の精神」の涵養を究極の目的とし、「課題の解決に向けて主体的に行動できる」ようになるための学力(とりわけ「思考力・表現力」及び「主体性・協働性」)の拡大を目指す。			
授業内容: 学長はじめ鹿児島大学執行部がミッション・ステートメントとして「進取の精神」とその立場から捉えた個別課題について講義する。			
授業方法: 毎回異なる講師が配布資料による講義を行うとともに、グループワークやワークシートを介した理解の深化を図る。			
学習目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「進取の精神」とその涵養が鹿児島大学教育目標の達成に不可欠であることを理解する。</li> <li>・「進取の精神」が大学における学修や諸活動にどのように関係しているのかについて理解する。</li> <li>・自らの挑戦課題とその達成方法について自らの言葉で述べるができる。</li> </ul>			
授業計画・試験の有無(16回[初修語は31回]に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「進取の精神」と鹿児島大学経営</li> <li>2. 「進取の精神」と鹿児島大学の企画・評価</li> <li>3. 「進取の精神」と鹿児島大学の共通教育</li> <li>4. 「進取の精神」と鹿児島大学の学生支援</li> <li>5. 「進取の精神」と研究</li> <li>6. 「進取の精神」と教育</li> </ol>			

7. 鹿大卒業後のキャリアと進取の精神
8. 特命担当理事（消費生活）からみた鹿児島大学と「進取の精神」
9. 鹿児島大学の一時代（その1）
10. 鹿児島大学の一時代（その2）
11. 鹿児島大学の一時代（その3）
12. 鹿児島大学の一時代（その4）
13. 鹿児島大学の一時代（その5）
14. 学長のミッション・ステートメント
15. 「進取の精神」と稲盛アカデミー
16. 期末試験は行わない（指定期日までにレポートを提出）

**授業外学習(予習・復習)**

- ・予習：次回の授業に必要な資料を収集し、まとめておく。（学習に関わる標準時間は約30分）
- ・復習：授業で学んだ内容を振り返り、ワークシートにまとめる。（学習に関わる標準時間は約1時間）

受講要件	成績の評価基準
	ワークシート60点、グループワーク及びプレゼンテーション（レポートを含む）40点
教科書	参考書
教科書は使用しないが、参考資料等はその都度示す	
地域志向科目の区分（平成27年度入学生用）	地域志向科目の区分（平成28年度以降入学生用）
<b>その他</b>	